

萩 ネットワーク

第 24 号 1998 年 11 月

発行：萩ネットワーク協会

〒 758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

TEL 0838-25-3131 FAX 0838-26-5458

萩市ホームページ <http://www.urban.ne.jp/home/hagicity/>

萩の南の玄関口にある萩駅舎は、大正 14 年 4 月の長門三隅・萩駅間の開通に合わせて建築されました。以来、若干の改修は行われましたが、建築当時の姿をよく残し、平成 8 年 12 月には登録文化財として登録されました。

今年の 4 月には、建築当時にあったドーマー窓（屋根にある小窓）等を復元し、萩の自然や歴史を紹介する「萩市自然と歴史の展示館」としてオープンしました。10 月からは、日没から午後 10 時まで、この建物をライトアップしており、新たな夜のスポットとして魅力ある空間を創り出しています。

大正ロマン香る「旧萩駅舎」を訪れて、あなたもロマンティックな雰囲気に触れてみませんか。

大正ロマンを今に

・・・旧萩駅舎



「緋が走る」ドラマ化決定・・・・・・・・・・ P 2
 萩時代まつり いよいよ間近・・・・・・・・・・ P 3
 はぎ・なんでも日本一③・・・・・・・・・・ P 3
 維新の長州～主役の背景⑤～・・・・・・・・ P 4～5
 ズームアップ「和晃」会長 井町 正さん・・・・ P 5
 萩国際大学 順調に進む新キャンパス建設工事・・ P 6
 国道 191 号の拡幅事業が着手・・・・・・・・ P 7
 萩写真コンテスト-その街並みと自然-・・・・ P 8

目次

同窓会だより・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9
 維新ゆかりの地 小千谷・角館訪問・・・・ P 10
 イベントプレイバック・・・・・・・・・・ P 11
 夢追人 ジャズ喫茶ヴィレッジ 増本義隆さん・ P 12
 杉民治の子孫から松陰の書簡等が萩市に寄贈・・ P 12
 萩 芸術・文芸の広場・・・・・・・・・・ P 13
 情報アラカルト・・・・・・・・・・ P 14～15
 幕末・維新こぼれ話・・・・・・・・・・ P 16

萩を舞台に、伝統の萩焼に主人公美咲が挑む！

NHK水曜シリーズドラマ

緋が走る

—平成11年1月6日から全6回で放送—

陶芸ブームといわれる今日。5年前、萩を舞台にして陶芸に取り組む若い女性の姿を描いたコミックの連載が始まったことをご存じでしょうか。

この人気劇画「緋が走る」のドラマ化が決定しました。

陶芸の究極の色とされる「緋色」を目指し、萩焼の世界へ飛び込む、主人公松本美咲。様々な出会いを通して美咲は一人前の陶芸家へと成長していく・・・

コミック誌で連載され好評を得た人気劇画「緋が走る」が、この度待望のテレビドラマ化されるこ



出演者 (左から真野響子、田中美里、山田純大、的場浩司)

とになり、来年1月6日からNHK総合の水曜シリーズドラマとして放送されることが決定しました。

原作のコミック「緋が走る」は萩を舞台に、陶芸の究極美に挑戦する若い女性の姿に、青春模様を織りまぜて描いた陶芸ドラマで、20代から30代を中心に幅広い支持を集めています。

ヒロイン松本美咲を、連続テレビ小説「あぐり」のヒロインで好演した田中美里さんが、そしてライバルとなる若き陶芸家一柳乙彦を、同じく「あぐり」に出演した山田純大さんがそれぞれ演ずることとなり、フレッシュな顔ぶれとなっています。その他にも、的場浩司さんや真野響子さん、林隆三さん、丹波哲朗さんといった素晴らしいキャストが、このドラマを盛り上

げます。

ドラマは父の訃報を聞き、故郷萩に帰った美咲が父の後を継ぎ、陶芸の究極美の一つである「緋色」を目指すことから始まります。ライバルとの作陶勝負や友情、恋愛といった青春模様をからめ、陶芸家として成長していく美咲の姿が生き生きと描かれます。

9月下旬からは現地ロケも始まり、市内各地で撮影が行われました。ドラマの中にも、皆さんもよくご存じの萩の風景や建物が多く登場することでしょう。



美咲役 田中美里さん

美咲役の田中さんは、「萩は自然がたくさんあって、人間と自然が無理なくつきあっているような場所ですね」と萩の印象についてコメント。他の出演者の方も、萩の自然の美しさや人の温かさが印象に残っているようで、特に山田さんからは、「昔ながらの校舎の明倫小学校で学ぶ児童がうらやましい」というような話も出ました。ドラマでも重要な役割を果たす萩焼について、田中さんは、「写真でしか見たことがなかったのですが、実際に触ってみるとても

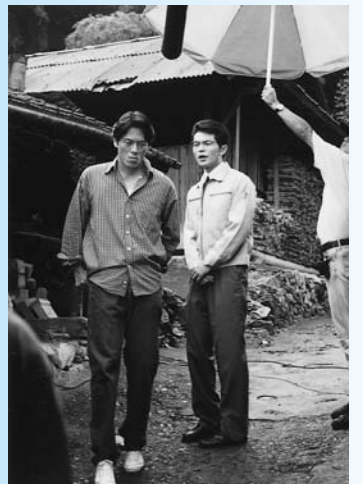
温かく、引き込まれていくような感じで、何かホッとする」という感想を持たれていました。萩焼を作るシーンでは吹き替えなしで、実際に田中さん自らくるをひねられるそう、ロケ前に東京で約15時間練習しました。まだ自信はないが、萩焼を作る場面では実際に美咲になりきって、萩焼の温かさを映像で伝えたい」とのこと。

山田さんも事前に20数時間余り練習されたそうで、2人ともこの作品への意気込みも相当大きいようです。

萩焼の魅力と、萩の美しい自然が織り込まれたドラマ、「緋が走る」。今から、来年1月の番組スタートが待ち遠しいものです。皆



原作「緋が走る」(集英社)



ロケ中の風景 (萩市椿東 左:山田、右:的場)

さん、ご期待ください。

また、放送まで待てないといわれる方は、一度原作のコミックを読んでおくことをお勧めします。ドラマの前に、予備知識をつけておくことも一つの楽しみ方ではないでしょうか。

■水曜シリーズドラマ

緋が走る

放送日 平成11年1月6日 (水) ~ 2月10日 (水) 毎週水曜日 (全6回) 午後10時 ~ 10時44分

放送局 NHK総合

□第1話「陶芸志願」

・・・1月6日 (水)

出演 田中美里 (松本美咲)、林隆三 (斎藤巖)、真野響子 (松本静江)、永島敏行 (松本竜雪) ほか

11月14日・15日は
明治維新130年

萩時代まつり

■11月14日(土)

○オープニングイベント
維新劇(ミュージカル)

SHOW IN 若き志士たち

一般公募されたスタッフにより、松下村塾に集った若き志士の青春群像を描くミュージカルです。

時間 午後7時

ところ 萩スカイシネマ(西田町)チケット 当日券1200円、前売券1000円(日にち指定)

※遠方の方は、氏名、連絡先を萩市観光課までご連絡いただければ、前売券の料金で当日購入できます。

その他の公演日 11月21日(土)

午後7時、22日(日) 午後2時、午後7時、23日(月) 午後2時

■11月15日(日)

○岩国藩鉄砲隊実演・民謡「男なら」披露

時間 午前10時〜(秋城跡指月公園)

※午後から萩市民体育館での披露でも実演が行われます。

○萩・大名行列披露

勇壮な姿を見せる「平安古備組」と「古萩大名行列」が、金谷天満宮を目指して市内を練り歩きます。

時間 午前9時〜

■萩時代パレード

時間 午後1時

ところ 御許町〜橋本橋〜萩市民体育館

内容 大名行列(平安古備組、古萩大名行列)、岩国藩鉄砲隊、若き志士たち、奇兵隊ほか

※萩市民体育館前で披露演技が行われます。

■同時開催イベント

萩友好物産フェア(萩市民体育館)萩広域ふるさとまつり(萩市役所前ほか)

■特別展示「日本の鉄道の父 井上勝」

萩出身で、日本の鉄道の父、井上勝の貴重な資料を公開する特別展が開催中です。

とき 11月15日(日)まで、午前9時〜午後5時

ところ 萩市自然と歴史の展示館(旧秋駅舎)

問い合わせ 萩市観光課(0838253131)へ

明治維新130年記念

秋の萩焼まつり

明治維新130年を記念して、萩市田町商店街アーケードで、「秋の萩焼まつり」が開催されます。この機会に、萩焼の魅力を再発見してみたいかがでしょうか。

とき 11月19日(木)〜23日(月) ところ 萩市田町アーケード内

HAGI・Anything is best in Japan

はぎのなんでも日本一!

第3回 4人の総理大臣

維新期にあまたの逸材を輩出した萩市ですが、中でも総理大臣を4人輩出したことはよく知られています。

今回の「はぎ・なんでも日本一」では、その4人の総理大臣を紹介します。

●伊藤博文(いとう・ひろぶみ)

天保12年(1841)〜明治42年(1909)



伊藤博文

現在の山口県大和町に林十蔵の子として生まれた博文は、父が萩の伊藤家の養子へ行ったため伊藤姓を名乗ります。松下村塾で松陰に学んだ博文は、イギリス公使館焼討事件や井上馨らと共に渡欧、また四国艦隊との和議に活躍するなど、卓越した斡旋能力により長州藩の主役の1人となりました。

明治政府では、大日本帝国憲法の制定や初代総理大臣として活躍します。総理大臣として4度組閣し、近代日本の黎明期を支えました。

支えました。

●山県有朋(やまがた・ありとも)

天保9年(1838)〜大正11年(1922)



山県有朋

藩士山県有稔の子として萩市川島に生まれた有朋は、久坂玄瑞の紹介で松下村塾に入塾しました。その後、高杉晋作が結成した奇兵隊に入隊し、軍監として数々の戦功を挙げ、長州藩の中心人物の1人となります。

維新後は、大村益次郎の唱えた軍制を具体化するなど明治政府の軍備面に精力を注ぎます。また2度、総理大臣として組閣し、町村制を施行するなどの功績を残しています。

●桂太郎(かつら・たろう)

弘化4年(1847)〜大正2年(1913)

藩士桂与一右衛門の子として萩市平安古に生まれた太郎は、藩校明倫館で文武を修め、戊辰戦争では奥羽地方鎮撫総督の参謀として参加します。



桂太郎

明治はじめのドイツ留学から帰国後、陸軍大臣などを経て、総理大臣として3度にわたり組閣を行います。また内務大臣や大蔵大臣、癌研究所初代総裁、獨協大学学長、東洋協会専門学校(現拓殖大学)校長などを歴任しています。

●田中義一(たなか・ぎいち)

文久3年(1863)〜昭和4年(1929)



田中義一

藩士田中信祐の子として生まれた義一は、陸軍大学校卒業後、日清、日露、日独戦争に転戦、またロシア留学では軍事政情を調査するなど、主に国防面で活躍します。

欧米視察から帰国後、陸軍大臣や政友会総裁を経て、昭和2年に外務大臣兼任で総理大臣となり組閣し、金融界の安定に尽力します。

○今回の「はぎ・なんでも日本一」では、萩に自生する植物について紹介します。

時代を動かした 下からのエネルギー

周防防荷村の百姓の子、伊藤博文が参議・工部卿から、やがて初代総理大臣になる。萩城下川島村の中間の子、山県有朋が陸軍中将・陸軍卿から近代日本を牛耳る大ボスになった。明治維新の革命性をたとえていえば、こうなるだろうか。封建的身分制は能力主義に取って代われ、支配層は逆転した。時代をそこへ突き動かしたのは、結局、下からのエネルギーだった。その民衆のエネルギーが最もよく発揮され、かつ意識的に活用されたのが、我が長州藩・長防二国にほかならない。それが、長州を維新回天の主役にさせた大きな理由の一つである。



秋元新蔵の言葉を語り伝える
「兼重翁史談速記録」(山口県文書館蔵)

武士の手でやれないのなら、
私の手で百姓一揆を起こしても…

維新まであと4年の元治元年(1864)、長州藩に試練と不幸が重なって襲いかかった。京都に出兵して禁門の変で敗れ、幕府に征長軍を起こされる一方、英・米など四力国連合艦隊に前年の報復攻撃をされる。このため藩政権は尊攘の「正義派」から「俗論派」に奪われ、正義派幹部11人が投獄され、次々と斬首された。長州の正義路線はまさに風前の灯火となる。

正義派官僚の一人、兼重議蔵は萩近郊の山村に潜んで「今日は罰せられるか、明日は殺されるか」と息をこらしていた。そこへ、小郡・下郷の庄屋、秋元新蔵の使いが現れ、兼重への口上を伝えた。

「国家(長州藩国)の御危急の境で、もし正義のお方がお倒れなされては国家はこれぎりと考えます」。それで、三百年來(恩顧)の御家來の誰かが立ち上がられるだろうと待っていました。が、どなたも決起されません。「もしも、御家來様方のお手でやれないということならば新蔵の手をもって百姓一揆を起こしまして、(正義派の)国家を回復しましょう」

奇兵隊など諸隊を支えた “庄屋同盟”

兼重自身が語りのこした(「兼重翁史談速記録」)この豪農商、秋元新蔵の言葉ほど、時代を動かす農民層の自信とエネルギーを表しているものはない。なぜなら、この言葉が決してはったりや大言壮語ではなかったから

り、加勢の農兵2小隊、軍夫2百人を戦線へ送った。かねて村内の二、三男を集め、自宅内に撃剣場を建てて剣を習わせ、自費で農兵隊を組織し頭取役を勤めていたという。

確かに、歴史転換の口火を切ったのは天才高杉の功山寺拳兵だった。だが、実際に内訌戦を勝利させ、歴史を転換させた力は、諸隊そのものを含めた反封建的な下からのエネルギーだったと言える。

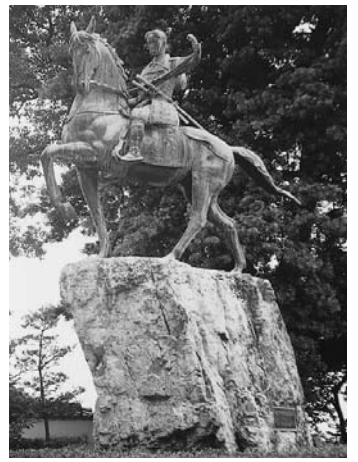
世祿の武士は腰抜けで 役に立たない

その諸隊の代表が有名な奇兵隊である。奇兵隊がこの内戦の1年半前、下関攘夷戦の惨めな敗北を受け、高杉によって創設されたことも良く知られている。

「高杉の考えでは、従來の世祿の士は腰抜けで役に立たぬから、これは新たに勇壯の士を募って、軍隊を組織した方が宜いというので、百姓でも町人でも何でも構わぬ、勇気があって身体の壮健な者を招募して、一隊を組織いたしました」

だから、奇兵隊隊士の約半数は農町民の庶民であり、もう半数の武士もほとんどは陪臣や卒階層など低い身分の者たちだった。そして、この奇兵隊の結成を契機にたちまち、長防二国中「農兵の編成あり、商兵の組織あり、力士、屠勇、僧侶、諸兵相次いで興り拳国ほとんど兵ならざるなきに至り」(「防長回天史」という状態になる。これは外庄による危機意識、さらには郷土防衛意識の高まりだったが、この時長州藩は封建武士団を見限り民衆の軍事力化に踏み出していたのである。

それから3年後の慶応2年(1866)春、第2次幕長戦争(四境戦争)を前に対幕交渉



奇兵隊を創設、維新回天へ
功山寺に拳兵した高杉晋作の像
(下関市長府の功山寺)

長防士民合議書で 士民の一体性うたう

の行われていた広島で、「長防士民合議書」というパンフレットが頒布された。その扉には「長防二州臣民合議局 活刷製本36万部」と書かれていた。長防二国民がなぜ、どんな覚悟で戦うのか、を天下に訴える宣伝工作文書だった。

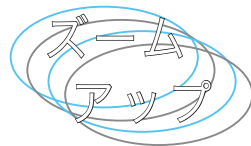
文書は藩主毛利敬親も目を通し、萩で印刷されている。臣民合議局の存在も36万部印刷も誇大宣伝ではあったが、四境戦争が郷土を防衛する長防士民全体のものになっていくことは間違いない。戦力の主体はむしろ洋式訓練を受けた諸隊だった。近代国民国家を先取りしたかのような長州藩の意識と体制は、攻め寄せた幕府と

他藩の及ばぬことだったのである。

吉田松陰が長い苦悩のすえ、革命を担える者は結局、草莽しかいないと悟ってからわずか7年後のことである。

(元毎日新聞編集委員・北村 知紀)

○シリーズ「維新の長州」主役の背景」は今回で終わります。来年、1999年は、吉田松陰没後140年、松陰と深い関わりがあった長州藩主・毛利敬親の生誕180年に



株式会社「和晃」 会長

井町 正氏 (萩高4期卒)

今回は、「夢ある菓子」を夢みて・・・京都で京菓子の製販売会社「株式会社和晃」を設立し、現在代表取締役会長として活躍しておられる井町正さんに、萩で過ごした若き日の想い出や、京菓子との出会いなどについて語っていただきました。

萩の想い出は

高校時代は、あまり人に自慢できそうな生徒ではなかったと思う。授業中に先生の目を盗んで弁当を食べたり、教室を抜け出したり、その当時の先生には随分と



だ。

それから数カ月もしない翌慶応元年正月、高杉晋作の拳兵で諸隊と藩政府軍の間に大田・絵堂の内戦が始まる。この時、小郡宰判の庄屋や地主28人は諸隊側の求めに応じ、死を決し、諸隊支援の「庄屋同盟」を結成する。秋元新蔵は大庄屋林勇蔵と共にその中心にな

京菓子との出会い

東京の夜間学校に在学していた時、東京から萩へ帰る途中ふと立ち寄った京都の町が気に入って、一旦は帰萩したものの、京都への思いが断ち切れず、気がつくとも京都駅に降り立っていた。働く場を求めて彷徨った挙げ句、やつとの思いでみつけた就職先が京菓子屋であった。これが私と京菓子との出会いである。

「夢ある菓子」を夢見て・・・

以来約30年そこで勤めた後、一念発起し昭和56年に京菓子の製造販売会社である株式会社和晃を設立した。当初は京都の観光地で土産品関連の売り場を中心に販売を行ってきた。しかし会社設立から4年後に社寺拝観停止問題が起り売上が激減した。これを契機に得意先を東京等全国に展開し、この危機を乗り越えることができ



「長防士民合議書」の印刷所跡 (萩市土原十日市筋)

あたります。そこで、次号から、人間松陰の人生を藩主敬親との関係を通して見直す新しい歴史エッセー「吉田松陰と毛利敬親」を連載いたします。筆者は引き続き北村知紀氏です。ご期待ください。

プロフィール

1932年4月中国の旅順に生まれ。1952年3月萩高等学校卒業。1981年株式会社和晃設立。1994年株式会社和晃代表取締役会長就任。趣味は読書、ゴルフ等。

萩へのひとこと

平素より一期一会を大切に思っている。故郷萩に帰るといつも、人と人とのふれあいに安堵し、又昔から変わらぬ風景を見るたびに心の安らぎを覚える。今後の萩市の発展につながるために、この萩ならではの風土と文化を次の世代に伝えていって欲しいと願うものである。



編集部から

会員の皆さん、通信販売での購入もできますので、株式会社和晃の自慢の商品である「番舞」、「兆雅せんべい」など、是非一度ご賞味ください。(フリーダイヤル 0120-178-807)

歴史の町から未来へ発信 萩国際大学

・・・順調に進む新キャンパス建設工事

萩国際大学は来春の開学に向けて校舎建設も順調に進んでいます。校舎もだんだんと形が見えてきて、萩に大学ができるという実感がわいてきました。

今回は、新キャンパスの航空写真を使って、校舎等がどのように配置されているか紹介します。

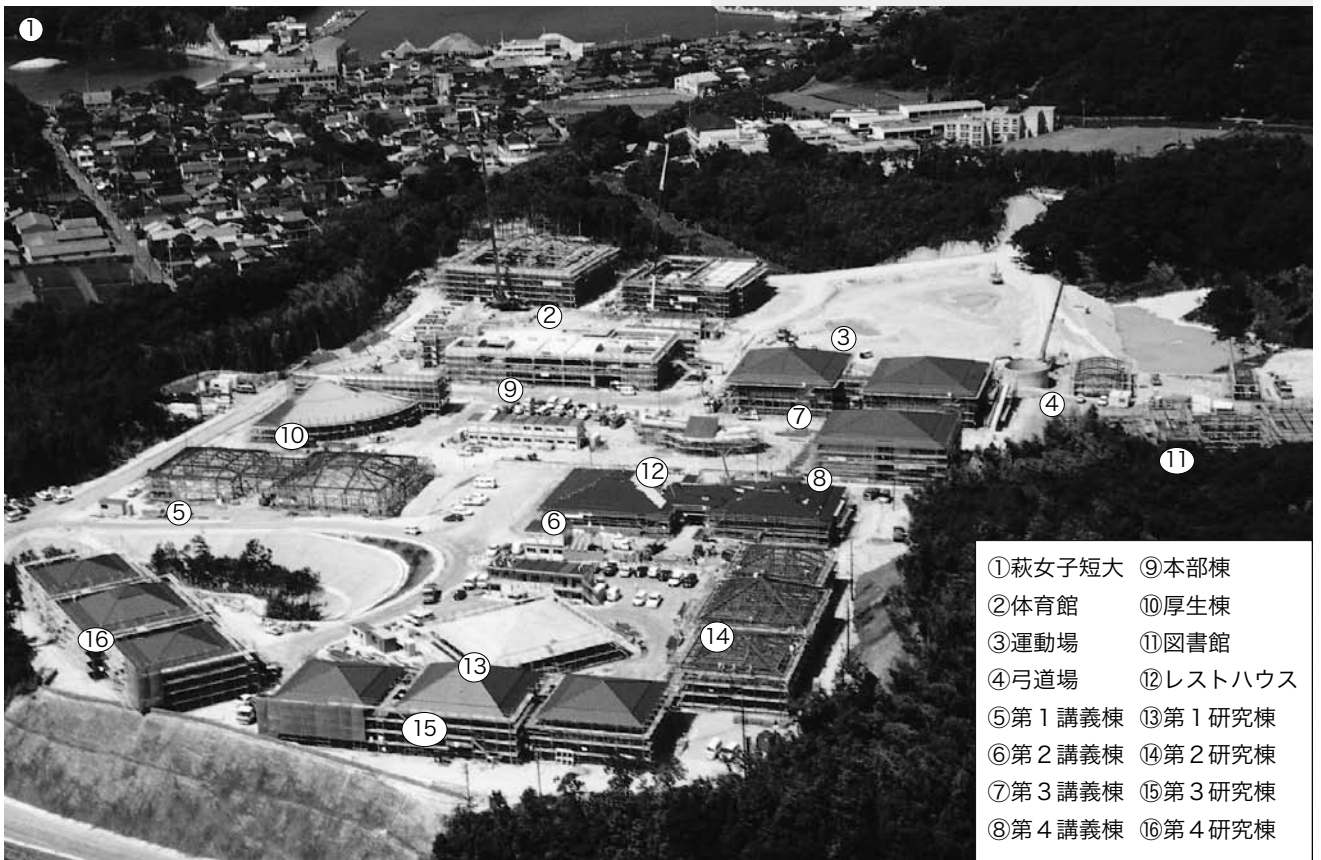
新キャンパスの航空写真(平成10年9月現在)

写真の上段には体育館や運動場などの体育関連施設が集まっています。体育の講義やクラブ活動、学生の余暇を利用する運動等にも利用されます。中段には第1から第4までの講義棟、厚生棟、図書館棟などの学生がキャンパス内で最も利用する施設が集まっています。ここがキャンパスライフの中心になるでしょう。下段は第1から第4までの研究棟があります。ここは教員の研究室、あるいは少人数での演習教室(ゼミナール室)が置かれています。

□キャンパスの配置は

総床面積約1万5000㎡におよぶ校舎等は約12ヘクタールの広い敷地にゆとりをもって配置され、周囲の自然に調和した美しいキャンパスになります。

10月下旬には、屋根など校舎の外観工事もほぼ終わり、キャンパスも形を整えつつあります。



- ①萩女子短大
- ②体育館
- ③運動場
- ④弓道場
- ⑤第1講義棟
- ⑥第2講義棟
- ⑦第3講義棟
- ⑧第4講義棟
- ⑨本部棟
- ⑩厚生棟
- ⑪図書館
- ⑫レストハウス
- ⑬第1研究棟
- ⑭第2研究棟
- ⑮第3研究棟
- ⑯第4研究棟

涙松の保存 工事終わる

萩市椿字千法師の市道涙松線沿いにある、通称「涙松」の保存工事がこの度実施されました。かつては道路を覆い尽くすように鬱蒼としていた6本の松もマツクイムシにより枯れ、現在は2本を残すのみとなっています。

今回の工事では、市道側へ15度傾斜している高さ30m以上、直径1.3mの大木を、台風などによる倒木の被害から防ぐためにワイヤーロープと特殊な金具により固定しました。

この松は萩と山陽をつなぐ萩往還のそばにある樹齢約240年のクロマツで、昭和48年に市の保存樹木に指定されています。



萩信用金庫 増改築終え 表側 がガラス張りに

萩市唐樋町の萩信用金庫(入江邦春理事長)が、今年の2月から行っていた本店の増改築工事が完成し、9月にリニューアルオープンしました。

工事は、鉄骨鉄筋造で地上4階の既存の建物を全面改修したのをはじめ、本店北側に鉄骨造3階建、床面積327㎡の書庫を増築、総面積2509㎡が完成しました。

本店西側の表玄関の壁面に、県北では初めて熱線反射ガラスを全面に使用しています。



萩のメインストリートが

大きく変わります

国道191号の拡幅事業

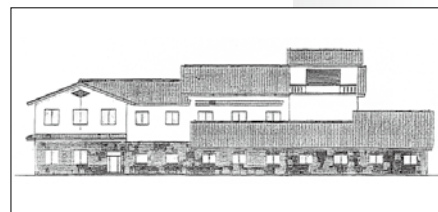
萩市のメインストリートである国道191号を拡幅する事業の着手式が、9月13日に市役所隣のサンライフ萩で行われました。着手式には、国会議員や市議会議員の来賓や建設省の技監、野村萩市長など関係者約80人が出席しました。

この事業は、建設省が市中心部の交通渋滞の緩和と良好な都市景観を創り出すことを目的に、御許町交差点から山口県立萩美術館・浦上記念館（平安古）までの約800mを拡幅するものです。



萩市消防庁舎の改築やサンライフ萩が移転

国道191号の拡幅事業に伴い、萩市消防庁舎やサンライフ萩などの公共施設が移転することになります。



萩市消防庁舎完成予想図

中央分離帯には桜並木を配置

今回拡幅される御許町交差点から山口県立萩美術館・浦上記念館の間は、道路を挟み藩政時代の明倫館などの史跡と市役所・市民館などの公共施設が立ち並んでいます。しかし、朝夕の通勤時

間帯には交通渋滞が発生し、車道及び狭隘な歩道の改良が強く望まれています。

拡幅されると、現在の2車線が4車線となり、両側に幅5mの歩道と中央に分離帯が設けられ、幅員は27m（最大32m）になります。特に市役所前は市民に親しまれて

込むことになっています。また、

拡幅される全区間の電線類は地下に埋設され、周囲の景観にも配慮されています。総事業費は約35億円で、平成13年度の完成を目指しています。

市では、この拡幅事業にあわせて市役所や市民館周辺に、市民や観光客の憩いの場となる広場・緑地を整備し、緑に囲まれた都市空間を形成することとしています。

切り妻様式和風建築に

萩市消防庁舎は、現在の庁舎南側（江向、萩青果卸売市場跡）に移転改築されることとなります。新しい庁舎は鉄筋2階建て、延床面積約2030㎡で、事業費は約6億4000万円、来年9月の完成予定です。建物の外観は、城下町にふさわしく切り妻様式和風建築となります。

明経中学校跡地に移転

現在市民の健康づくりの場ともなっている市役所隣のサンライフ萩は、明経中学校跡地に移転することになります。

移転建替工事は雇用促進事業団が今年12月に着工し、来年10月の完成を目指します。新しくできるサンライフ萩は、これまでの会議室や職業技能訓練室、トレーニング室のほか多目的ホールが新たに整備されることになっています。

萩の夜の観光スポットにど・う・ぞ

萩市では、市民や観光客が夜の観光を楽しめるようにと、国指定史跡・萩城跡の天守閣石垣と登録文化財・旧萩駅舎をライトアップしています。

■国指定史跡

・萩城跡の天守閣石垣

萩城は慶長9年（1604）に築城を開始し、同13年（1608）に竣工。文久3年（1863）に藩庁が山口に移るまで約260年間にわたり、萩の地を見守ってきた。明治元年（1868）藩庁から萩城の解体が命じられ、同7年（1874）天守閣の解体にとりかかり、現在は石垣だけが残っている。ライトアップ 11月30日までの日没から午後9時まで



国指定史跡・萩城跡天守閣石垣

■登録文化財・旧萩駅舎

旧萩駅舎は、萩に初めて鉄道が敷かれた大正14年（1952）に建築され、大正時代の洋風建築を今に伝える。平成8年12月に文化庁の登録文化財に登録される。平成10年4月には「萩市自然と歴史の展示館」としてリニューアルオープンし、館内には萩出身で日本の鉄道の父、井上勝に関する資料等が展示されている。※写真は表紙を参照してください。ライトアップ 日没から午後10時まで（通年）



現在のサンライフ萩

萩写真コンテスト

—その町並みと自然—

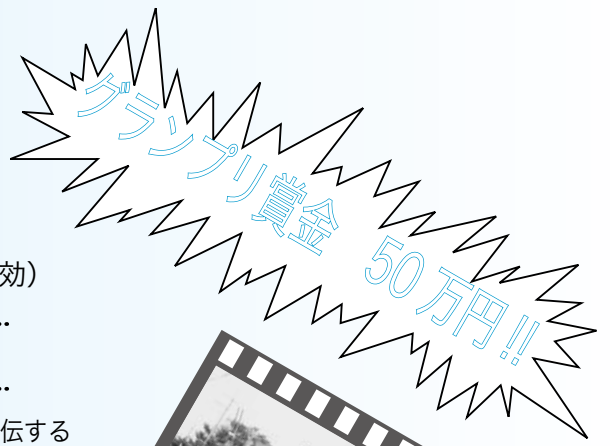
募集期間 10月1日～平成11年9月30日（当日消印有効）

.....
あなたの見つけた萩の魅力募集します
.....

明治維新130年を記念し、「歴史のまち 萩」を広く全国で紹介・宣伝するとともに、新しい萩の魅力を発掘するため、市内の四季折々の町並みや自然景観、祭り、イベント、観光地など萩の魅力が伝わる作品を募集します。

この写真コンテストは、審査員や賞のレベルも全国展開に合わせたふさわしいものとなっています。

萩をPRし、また萩の魅力を再発見するとともに、集まった素晴らしい写真を、今後は観光宣伝にも活用していきます。



—募集要項—

題 材 萩の町並み、史跡、文化財、自然、風物、祭り、イベント、観光地など（萩市内に限る）

作品規格 カラープリントまたはモノクローム、サイズは四つ切（ワイド四つ切も可）。組写真は5枚以内

応募票 画題（フリガナ）、カメラ、レンズ、フィルム、絞り、シャッター、住所、電話、氏名（フリガナ）を明記した応募票を貼付すること（応募票は自作可）

募集期間 10月1日～平成11年9月30日（当日消印有効）

入 賞 グランプリ1点（賞金50万円・賞状・副賞）、特選3点以内（賞金10万円・賞状・副賞）、入選10点以内（賞金1万円・賞状・副賞）、佳作20点以内（記念品賞状）

審査員 高田誠三（日本写真家協会、全日写連理事、大阪芸術大学教授）ほか
主 催 萩観光写真コンテスト実行委員会



募集細則

○応募作品は、未発表の自作品とする。

○応募作品は、返却しない。

○応募作品には、応募票（自作可）を作品の裏面に添付すること。

○応募作品の著作権は本人に帰属する。ただし、入賞作品を萩市の紹介や宣伝のためにポスターやパンフレット、チラシ、雑誌、ハガキ等に使用する複製権、及びインターネットや映像などに使用する公衆送信権は萩市に帰属する。また、応募者は作品提出と同時に作品の展示を承諾したものとす。

○入賞作品については、通知次第、スライド又はネガの原版を送付していただくものとする。期日までに送付いただけないときは失格となる。

○作品の展示は主催者が行う。

○被写体が人物の場合、肖像権侵害等の責任は負わないので、必ず本人（被写体）の承諾を得ること。

○作品の発表あるいは展示後、その作品の主題に関する苦情、異議申し立てがあった場合の責任は、すべて応募者に属するものとする。

○応募者は、作品を応募することにより、この募集細則をすべて自動的に承諾したものとす

応募先・問い合わせ

〒758-0061 萩市大字椿3537番地の3 萩市観光協会内萩観光写真コンテスト実行委員会事務局（25・1750）

「同窓会はええもんじゃの」

萩商・商業科昭和33年卒同窓会



10月3日、卒業40周年を記念して池田正人様をはじめ恩師5人をお招きし、北は北海道・南は九州迄全国各地から60名近い同期生が学びの地に集い盛大に催されました。

久しぶりに会えた級友との遠慮会釈ない「ノーお前ちゃん」「ネーあんなちやーね」と萩弁があちこちで心地良く耳に入ってきます。

特に印象に残ったことは、中村貞行先生の「橘香る・・・」で始まる校歌に全員が合唱したこと。それに萩在住の女性陣による銭太鼓・舞踊はプロの域に達する見事さで、大喝采でした。

還暦を迎える2年後には、還暦祝い同窓会の開催も決まりました。

今回参加できなかった同級生の方々にも、同窓会でしか味わえない素晴らしい集いは是非参加しようではありませんか。次回2年後を楽しみにしていきます。

萩市河添出身 伊丹市在住・堀明人

同窓会だより

たちばな会総会

10月17日、たちばな会総会が午後6時から秋商業高校体育館で開催されました。

当日は、台風10号の影響であいにく天候にも関わらず、約200名が出席しました。総会では、川原たちばな会理事長の挨拶に続き、能美校長が学校の近況報告を行いました。

総会に続いて行われた懇親会では、グラスを片手にお互いの学生時代の思い出話に花が咲き、台風のことなどすっかり忘れていたようです。

特に商業高校らしく女性の姿が多く見られ、会場は華やかムードが漂っていました。

最後に全員が参加しての福引き大会が行われ、会場は大変な盛り上がりを見せました。



山口指月会総会

10月16日、山口指月会が午後6時から山口市湯田の翠山荘で約100名が出席して盛大に開催されました。

総会は、物故者に対する黙祷で始まり、河野山口指月会会長、萩高の浜田校長の挨拶、校歌斉唱に続いて懇親会に入りました。

懇親会の各テーブルでは、近況報告やふるさとの話題で盛り上がりました。山口市ということで秋から通勤している人、たびたび秋に帰る人も多く、最新の秋の情報が飛び交っていました。

続いて行われたビンゴゲームでは、来賓の方も含め全員が参加し、ふるさとの物産など豪華な景品の福引があり、盛り上がった雰囲気のまま、湯田温泉の二次会会場へと場所を移しました。

東京指月会31回大会

東京指月会第31回大会が、高校20期と30期の引受けで10月17日午後3時から千代田区の日本工業倶楽部において、同窓生、来賓あわせて約180名が出席し盛大に開催されました。

まず最初に三隅田会長の「母校及び母校同窓会との交流を深め親睦の輪を広げて、親しみのある同窓会として実を挙げたい。」との挨拶で総会が始まり、続いて秋から出席された萩高の浜田校長、山縣同窓会会長の来賓挨拶、野村秋市長の乾杯で懇談会へと移りました。会場には秋からの情報発信として、萩の味覚を揃えたコーナーなどが設けられ、参加者の人気を集めていました。又、アトラクションでは、今なお元気でいらっしゃる先生方の近況や変わりゆく萩の町がビデオで紹介され、懐かしそうに見ていました。続いて行われたお楽しみみの福引抽選会では、読み上げられた番号に参加者が一喜一憂するなど終始会場は和やかな雰囲気にも包まれていました。



たちばな会広島支部総会

第40回たちばな会広島支部総会が、9月5日午後6時30分から佐伯郡大野町「宮浜リフレクラブ」で、来賓と会員あわせて約30名が参加して開催されました。

参加した会員は、総会開始前に温泉でリフレッシュして総会へと臨みました。総会は、吉原会長の挨拶で始まり、続いて来賓として出席いただいた能美校長、川原たちばな会理事長、土佐岡からたちばな会支部副支部長からお祝いのご挨拶をいただいた後、懇親会に入りました。

懇親会では、会員の近況報告を兼ねた自己紹介やカラオケでのど自慢の披露などもありました。中でも、瀬上たちはな会常務理事の秘話?には参加者から爆笑が沸き起こりました。会場は級友との会話や懐かしい学生時代の話題で大いに盛り上がりました。

最後に、参加者一同で萩商の校歌を斉唱して、来年の再会を約して散会となりました。



からたち会中京支部・たちばな会中京支部 合同懇親会

からたち会中京支部・たちばな会中京支部の合同総会が、10月24日午後5時から名古屋駅前の北京料理「百楽」で会員、来賓など約30人が出席して開催されました。

懇親会は、河辺からたち会中京支部長、藤野たちばな会中京支部長の挨拶で始まり、続いて萩工業高校・中村先生、萩商業高校・能美校長から学校の近況報告がされ、宴に入りました。懇親会の各テーブルには、学生時代の思い出やふるさと萩の話題に花が咲きました。出席者全員による他人紹介では、学生時代のエピソードも紹介されるなど会場は終始和やかな雰囲気でした。名古屋で萩の一時を過ごした参加者は、最後に来年の再会を約して、両校の校歌の斉唱と記念写真を撮り散会となりました。



明治維新130年・・・

維新ゆかりの地を訪ねて

戊辰戦争130年in角館

小千谷市船岡山慰霊祭

に参加して

..... 戊辰の役、即ち明治維新百三十年を記念して全国各地で多彩な催しが行われている。秋市に参加要請をいただき参加した二つの行事、以下はその報告である。.....

■戊辰戦争130年in角館

8月22日秋田県角館町で開催。前半の午前の部は、首長が語る戊辰戦争と我がまちづくりと題して萩を含め会津若松、白石等の市長が参加し意見交換。午後は歴史専門家による講演・シンポ。秋田藩は奥羽越列藩同盟から官軍側についたため東北諸藩から攻撃の標的となり、角館は孤軍奮闘、大村、平戸、長州等の援軍により救援されるが、大激戦地となった。大村藩が援軍として最初に到着したとの縁で角館町、大村市は現在姉妹都市の関係である。かかる地でシンポが開催されたことは大変興味深く、歴史読本12月号にも写真入りで紹介されている。



長州藩士の墓を拜む野村市長



戊辰戦争130年in角館

■小千谷市船岡山慰霊祭

9月22日台風が北上する最中新潟県小千谷市で厳かに供養が行われる。船岡山墓地には、新潟から上陸した官軍に対し、河合継之助が心血を注いだ近代装備の長岡藩等の軍が攻撃、榎峠、朝日山は北越最大の激戦地となり松陰門下の時山直八はじめ多くの犠牲者を出す。船岡山には諸藩の多くの戦没者の墓が並んでいるが、長州のみは全ての墓に身分差のない石柱型の墓石となっている。奇兵隊等の諸藩の構成から明らかのようにこの時点で長州は身分の仕切りが取り払われていたのかと感慨もひとしお。なおこの墓石は北浦の須佐町から運ばれてきたものと聞き仰天する。

■角館・小千谷を訪ねて

戊辰の役ゆかりの地を訪ねてつくづく思う。時代の変革は大きな犠牲と負担を残す。しかし先人の成し遂げた大事業は間違いなく日本の歴史を、またアジアの歴史を大きく変えることとなった。混迷を増す我が国の諸状況の中で変革と進取の気風で激動を乗り切った維新・明治を今一度振り返ってみよう。そこに日本の未来が見えるかもしれない。

萩市長 野村興兒



小千谷市船岡山慰霊祭



長州藩士も眠る墓地

イベント プレイバック

明治維新130年記念 講演・シンポジウム
「ふりかえれば未来 — いま維新を考える —」

明治維新130年を記念して、「ふりかえれば未来 — いま維新を考える —」と題した講演とシンポジウムが、10月22日、萩市民館で開かれました。

講演では、下関市の東行記念館学芸員の一坂太郎さんが、「明治維新は英雄豪傑の紙芝居ではない。会津や萩の地に改革の犠牲となった人たちがいたからこそ維新がなったことを知り、萩こそ未来に向かって本物の維新史を伝えていく必要がある」と訴えられました。



一坂太郎氏

またシンポジウムでは、パネリストの福島県郡山市在住の作家、星亮一さんが、「130年といても、東北では戊辰戦争から130年。お互いの歴史認識の違いを知ってこそ、本当の議論や交流ができる」と述べられました。鹿児島大学助教授の原口泉さんは、「長州や薩摩は海に面した辺境だったからこそ、アヘン戦争に危機感を覚え、維新に向かって庶民も一体となって取り組んだ。」と、東北と薩長の意識の違いに

会津若松市との交流 友好親善 ソフトテニス大会

10月17日、萩市民体育館で会津若松市と萩市の「友好親善ソフトテニス大会」が行われました。

会津若松市からは13名の方が参加し、合同練習のあと両市の2人ずつが男女ペアを組み、ダブルスの試合が行われました。お互い緊張気味でしたが、試合が進むにつれて息も合いはじめ、名(迷)プレーの連続に歓声があがりました。

試合後は、市内のホテルで懇親会が行われ、試合やお互いの市の様子などに話が弾み、会場は大変和やかな雰囲気になりました。

8月に行われた剣道大会に続き、今回の大会でスポーツを通じた新たな両市の交流に期待がふくらみました。



参加した両市の皆さん

ついで述べられました。萩在住の北村さんは、「維新には若者たちの教育が不可欠だった。維新胎動の地、萩に維新を紹介する博物館等の整備を望む」と、萩市民としての意見を述べられました。最後に、コーディネーターの広島大学教授の三宅紹宣さんが、「伝統なしに改革なし」という言葉を用い、過去を振り返りながら、新しい未来をつくっていくと締めくくられました。



左から三宅氏、星氏、原口氏、北村氏

レポート 第7回萩・世田谷幕末維新祭り

10月24日・25日
(東京都世田谷区)

10月24日、25日に東京都世田谷区で開催された、第7回萩・世田谷幕末維新祭りに参加しました。初日はあいにくの悪天候で人数が少なかったが、2日目は快晴となり、2日間で約3万5千人もの人出で賑わいました。

萩市からは秋焼窯元(2社)、夏みかん加工業者(2社)、地酒(2社)、海産物加工業者(5社)合わせて11社が参加し、萩の物産を販売しました。

その他にも、萩焼陶芸教室・萩観光案内コーナー等を設け、萩の観光PRを行いました。

祭りには萩出身の人や、萩に親戚がいらっしゃる人もたくさん来られ、「この夏みかんの香りなつかしいね」とか「子供の時、萩の蒲鉾をよく食べた。」



萩・世田谷祭りの様子

たよ」とかという声を聞き、世田谷に来て良かったと感じました。

私はこの祭りに3回参加していますが、毎回、世田谷区や商店街の方々に温かく迎えられ、とてもうれしく思います。

松陰神社という一つの共通財産を通じ、商店街の交流から始まった祭りが、年々、規模・内容ともに拡大・充実し、今や世田谷区を代表する催し物の一つとなっています。今後もこの祭りにより世田谷区と萩市の交流が深まり、さらに発展することを願っています。

萩市商工課 服部哲也

平成10年度 ミス萩観光コンパニオン 萩観光シンボルレディー

観光都市萩の顔として、観光宣伝や行事のアシスタントを務める、平成10年度「ミス萩観光コンパニオン」と「萩観光シンボルレディー」が決定しました。

ミス萩観光コンパニオンには、田中裕子さん、平井智恵子さん、三好里枝さんの3人が、萩観光シンボルレディーには布田佳代子さんが選ばれました。10月5日に、野村興児萩市観光協会会長から認定書が交付されました。任期は2年間となっています。

これから、萩の観光PRをよろしく願います。



左から田中さん、平井さん、三好さん、布田さん

杉民治の子孫から
松陰の書簡等が萩市に寄贈

9月4日、吉田松陰の実兄杉民治の曾孫にあたる杉治彦氏(鎌倉市在住)から、吉田松陰の書状をはじめとした100点余りの古文書が、萩市に寄贈されました。寄贈を受けた古文書のうち、吉田松陰の書状がおよそ半数にあたる50点余りを占め、ほかに高杉晋作、久坂玄瑞、乃木希典などの書状も含まれています。吉田松陰の書状が、これほどの数まとまって寄贈を受け所

蔵されるのは、おそらく今回が最後であると思われます。寄贈を受けた古文書は、萩市郷土博物館で保存・管理し、萩市郷土博物館の常設展示で、展示する予定にしています。

■主な寄贈物
兄杉民治宛吉田松陰書簡
嘉永4年(1851)9月23日
江戸滞在中の松陰から萩の兄民治に宛てた書簡。
松陰22歳、この年の3月兵学研究のため藩主に従い、4月



兄杉民治宛吉田松陰書簡

江戸に着く。初めての江戸であり、その5か月余り後にしたためられた書簡である。江戸での近況では、もっぱ

ら読書のことを伝え、萩の兵学門下生の近況も尋ねている。また水戸藩主徳川斉昭の著作を写本したとあり、その思想に敬服している。中でも攘夷論と軍備充実論に驚嘆しており、萩藩の防衛もかくありたいと言っている。

この年の12月、松陰は東北遊歴に出るが、旅費の工面を兄に頼んでおり、物心両面で松陰の面倒を見た民治と松陰の兄弟関係の絆の強さもうかがえる。



萩ガラス切り子と盆創

萩ガラスの新しい魅力、「萩ガラス切り子」を、ぜひこの展示会でご覧ください。

萩ガラス工房の藤田社長からは、「24種類、全ての萩ガラス切り子の文様を展示するので、違いや、彫りの細かさで見事さをじっくりと見てください」というPR。

萩ガラスの新しい魅力、「萩ガラス切り子」を、ぜひこの展示会でご覧ください。



ジャズ喫茶「ヴィレッジ」
増本義隆さん

今回は、萩で本格的なコンサートも楽しめるジャズ喫茶として人気のある「ヴィレッジ」店長の増本義隆さん(萩高27期卒)に、コンサートを始めたきっかけや、これからの夢について語ってもらいました。

●喫茶店でコンサートを始めたきっかけは？
写真の勉強とジャズを聴きに、



日野さんと(左)増本さん

ニューヨークに3か月滞在したのですが、その時向こうのレコーディングスタジオで、ベーシストの巨匠リチャード・デイビスと出会ったのが大きかったですね。帰国した翌年に彼を招へいして、東京と大阪そして萩でツアーを行いました。それが、この店でコンサートを始めたきっかけです。

●これまでにこの店でコンサートをした人は？

ニューヨークに3か月滞在したのですが、その時向こうのレコーディングスタジオで、ベーシストの巨匠リチャード・デイビスと出会ったのが大きかったですね。帰国した翌年に彼を招へいして、東京と大阪そして萩でツアーを行いました。それが、この店でコンサートを始めたきっかけです。

●これからの夢は？
萩でデビューさせた「DAIC HI TRIO」のレコーディング

店を開いて17年になりますが、延べ人数で100名程度をよびました。名前をあげると、リチャード・デイビス(ベース)、大西順子(ピアノ)、日野皓正(トランペット)、近藤大地、ジュニア・マンズ、小曾根真(ピアノ)などですね。

●コンサートをやってみて感じたことは？
ミュージシャンをよぶのは色々大変です。でも、これまで続けているのは、やっぱり自分の好きなことをしているから。どんなに大変でも、コンサートが終わった後にはもう次のことを考えています。これも「好き」という弱みというか・・・。



ヴィレッジ
(萩市土原2区)

「LIVE AT VILLAGE」のCDを作ってみたいですね。

●PRを

ここでのコンサートは、いっぱい入っても100名くらい、アットホームな雰囲気です。萩でも楽しいことをやっているの、ぜひ来てください。

●プロフィール

1957年2月、萩市に生まれる。東京総合写真専門学校を卒業。趣味は映画鑑賞。萩市上野在住。
☎(0838)256596

切り子ガラスの魅力を発見
「萩ガラス切り子」と
「創作人形・盆創」展
11月21日(土)〜12月6日(日)
萩ガラス工房

前号の夢追人で紹介した、萩ガラス工房の住田さんが制作した「萩ガラス切り子」の展示会がいよいよ始まります。

今回の展示会には、萩ガラス切り子の基本文様24種類をそれぞれ刻んだグラスや、抹茶茶碗等が展示されます。また、萩市在住の岡野芳子さんとのジョイント展示ということで、岡野さんの創作人形と盆創(アート盆栽)も見所の一つです。

萩ガラス工房の藤田社長からは、「24種類、全ての萩ガラス切り子の文様を展示するので、違いや、彫りの細かさで見事さをじっくりと見てください」というPR。

萩ガラスの新しい魅力、「萩ガラス切り子」を、ぜひこの展示会でご覧ください。

城山窯 金子信彦さん

朝日陶芸展で秀作賞

第36回朝日陶芸展において、全国635点の応募の中から、萩市堀内の陶芸家金子信彦さん（47歳）のオブジェ「FLOWER（花）」が、グランプリに次ぐ秀作賞を受賞しました。

受賞作は、高さ100cm、奥行き40cmの大作。花瓶の口の部分を外側に広げて花びらをかたどったような造形。日本海に沈む萩の美しい夕日にも似た、やさしいオレンジ色。全体的に丸みのある曲線的な構成で、女性的な雰囲気醸し出しています。

これまでは、大地から古代の遺跡がのぞくような幻想的な作品で評価されてきたが、今回は全く新しいものに挑戦しました。

「今回の作品の赤い色に希望や可能性を込めました。土は勝手に焼かれて、可塑性もなくなる。だから、土の花を咲かせてやりたかった。」

萩焼作家という伝統窯のイ



メージがあるが、金子信彦さんは戦後の新興窯で働き、観光客相手に手びねりや絵付けなどの指導をしながら、オブジェも作り、会社の窯で焼いている。根っからの陶工であり、16歳から陶の修業に入った。萩焼がブームを呼ぶ前だった。

城山窯のオーナーは、ホテル経営者の渡辺隆登さん。金子さんの制作、自由な発表を支えてきた。土産物の並ぶ奥に「金子信彦展示室」と名づけた作家のコーナーがあり、観光客としては非常に珍しい。

朝日陶芸展秀作賞は93年に続いて2度目の受賞。

萩市出身。1967年に萩焼の世界に入った。山口県芸術文化振興奨励賞、県美術展最優秀賞など多くの賞を獲得している。

萩の維新関係碑文拓本集
ー 維新を刻んだ町ーと
拓本レブリカの発行

萩市には、明治維新という時代や人物を刻んだ石碑が、市内各所に点在しています。

「萩の維新関係碑文拓本集」は、これら維新関係の石碑を拓本に採り、その図版と解説及び写真を掲載したものです。

「拓本レブリカ」は、吉田松陰の歌碑、吉井勇の詩碑、児玉花外の詩碑の3点の拓本を和紙に複製印刷したものです。

■「萩の維新関係碑文拓本集」
規格 B5版、80ページ
内容 拓本図版50点、維新関係石碑所在図付き
価格 1200円（消費税込）

■「拓本レブリカ」
規格 和紙刷り、化粧箱入り
内容 複製拓本、解説文付き
価格 各1100円（消費税込）
限定100部

申込み・問い合わせ 郵送料を含め現金書留で〒758-18555 萩市郷土博物館（25・6447）へ



山口県立萩美術館・浦上記念館だより

【特別展示】

■「なぞのタイムカプセル」封印された南宋陶磁展
10月10日（土）～11月15日（日）
800年前の中国陶磁器136点を展示。91年に中国四川省で出土したもので、土の下で800年間眠っていたとは思えない美しさ。裕福な商人がモンゴル軍の侵略を避けて埋めたと推測されており、当時の食文化や生活を物語る逸品が並ぶ。

■「神秘的王国・鄯国王墓」展（第2期）
11月20日（金）～平成11年2月21日（日）
中国山東省との文化交流シリーズ。春秋時代に栄え、中国全土に大きな影響力をもった「鄯国」の王の墓の出土品1700点を展示。当時の楽器、甬鐘などには青銅器の産地、山東省ならではの技巧が示される。

■「小企画展」
■「相撲絵」展
11月3日（火）～11月29日（日）
館蔵品から、江戸時代に人気を博した力士の姿、取組や土俵入りの場面、相撲風俗、また阿武松緑之助といった秋藩お抱えの地元力士など、相撲に関して描かれた作品64点を展示。

【期間中の平常展示】

■浮世絵

○「雪景色」12月1日（火）～12月27日（日）
○「月岡芳年」平成11年1月5日（火）～1月31日（日）（Part 1）、2月2日（火）～2月21日（日）（Part 2）

■東洋陶磁
○「館蔵中国陶磁―青銅器の時代のやきもの―」12月1日（火）～平成11年2月21日（日）
□開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
□休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）

※教育・文化期間（11月1日～7日）は、一般学生とも無料です。
季刊誌「萩」の申込み方法
美術館では、年4回（4・7・10・1月）企画展等の内容を紹介した季刊誌「萩」を発行しています。ご希望の方は、郵送料として140円切手を同封のうえ、〒758-10074 萩市平安古586-1 萩美術館・浦上記念館（0838-24-2400）へ



A4版・10ページ
全ページカラー

情報アラカルト

ー東北地区ー

■萩焼作家の個展

◇野坂康起・和左親子展

とき 10月27日(火)～11月8日(日)

ところ 福島市・おおつき画廊

ー関東地区ー

■ちばな会関東支部総会

ちばな会関東支部の総会を次のとおり開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

とき 11月20日(金)午後6時30分

ところ 東京都港区南青山・はあといん乃木坂(健保会館内)

■第22回武蔵野美術家展

萩出身の女性日本画家・内田青虹の作品が出品されます。

とき 11月12日(木)～11月23日(月)午前9時30分から午後6時30分(最終日は午後5時)、水曜日は休館日。

ところ 武蔵野市・武蔵野市民文化会館「アルテ」

問い合わせ 武蔵野文化事業団

(0422・54・8822)

■秋・津和野ながと路観光キャン

ペーン
萩市や周辺の11市町村で組織す

るながと路観光連絡協議会が観光キャンペーンとして観光名所や特産品の紹介・PRを行います。

とき 11月30日(月)～12月4日(金)

ところ 東京都千代田区JR有楽町駅そごう口 電気ビル内・有楽町ふるさと情報プラザ

■萩焼作家の個展

◇第30回日展

日展評議員の萩焼作家・吉賀将夫の作品が、第4科工芸美術で展示されています。

とき 11月2日(月)～11月24日(火)

ところ 東京都台東区上野公園内・東京都美術館

◇人間国宝・三輪休雪展

とき 11月5日(木)～11月11日(水)

ところ 東京都中央区日本橋・三越美術画廊

◇陶 三輪栄造展

とき 11月11日(水)～11月17日(火)



展示作品 萩釉窯変壺
「曜'98・四季」

ところ 東京都新宿区百人町・益田屋

◇内村幹雄作陶展

とき 11月16日(月)～11月28日(土)

ところ 東京都杉並区荻窪・かなえ工芸

◇吉賀将夫作陶展

とき 12月1日(火)～12月7日(月)

ところ 東京都中央区日本橋・日本橋三越6F特選画廊

◇森田唐七作陶展

とき 平成11年1月23日(土)～1月29日(金)

ところ 東京都渋谷区・西武百貨店ギャラリー「プラチナサロン」

ー東海地区ー

■萩焼作家の個展

萩焼作家3人展

萩焼作家・五十嵐茂典、小田光治、松野龍司の作品が展示されます。

とき 11月7日(土)～11月15日(日)

ところ 愛知県江南市高屋町・ギャラリー「くれい」

ギャラリー「くれい」は、萩市出身松野俊男さんの経営です。

■ジャズライブ

小濱安浩(t.s)、山本奈々(v.o)、後藤浩二(p)、島田剛(b)、佃政彦(ds)の5人によるジャズライブです。

とき 11月6日(金)午後7時

ところ 愛知県江南市高屋町・ギャラリー「くれい」

問い合わせ ギャラリー「くれい」

(0587・54・0839)へ

ー関西地区ー

■萩焼作家の個展

◇米寿記念 人間国宝・三輪休雪展

とき 11月20日(金)～11月25日(水)

ところ 大阪市阿倍野区・近鉄百貨店阿倍野店6F美術画廊

◇岡田裕作陶展

とき 平成11年1月13日(水)～1月18日(月)

ところ 姫路市・山陽百貨店

■上田豊治「切り絵の世界」展

萩市で切り絵の創作活動に取り組み上田豊治の個展です。作品は、萩の風景や伝統行事などを題材としています。

とき 11月10日(火)～11月15日(日)

ところ 松山市一番町・三越松山店

ー四国地区ー

■九州地区ー

■萩焼作家の個展

◇坂高麗左衛門展

とき 11月17日(火)～11月23日(月)

ところ 福岡市中央区天神・福岡三越

ー山口県関係ー

■毛利博物館 特別展「国宝」展

雪舟筆「山水長巻」、古今和歌集巻八」などの国宝・重要文化財をはじめとする毛利家ゆかりの優品を展示します。

とき 10月30日(金)～11月29日(日)

ところ 防府市多々良・毛利博物館

入場料 大人1000円、小中学生500円

毎週月曜日は休館日。

■萩焼作家の個展

◇萩焼選抜作家秀作展

萩焼作家・五十嵐茂典、野坂和左、松野龍司、山影陶道の作品が展示されます。

とき 11月5日(木)～11月9日(月)

ところ 下関市・下関大丸7F

◇萩・止原伸郎の時計展

とき 11月17日(火)～11月23日(月)

ところ 防府市多々良・毛利邸内

ギャラリー「舞衣(まい)」

◇華のうつわ中村まり企画・濱中月村展

とき 11月17日(火)～11月23日(月)

ところ 徳山市児玉町・本丁蔵部

会期中、濱中月村の作品に出張料理人・佐々木志年が作ったお菓子の組合せによるお茶とお菓子の会

があります(予約制)。

テレビガイド

◆「堂々日本史 吉田松陰 情報で幕末を切り開け～65 通の直筆書簡を読む～」NHK総合

今年9月、萩市に寄贈された松陰の書簡。(P 12 参照) この書簡や松陰の日記を読むと、時の大老、井伊直弼暗殺計画や、日米修好通商条約の案など、当時の機密事項を入手していたことが分かる。松陰直筆の書簡をひもときながら、松下村塾の塾生を使い独自の情報ネットワークを築き、収集した情報を元に激動の幕末の世を切り開こうとした松陰の姿が描かれます。
放映予定日 11月24日(火) 午後10時～10時44分

◆「ピアノ・ミステリー 海を渡った 幻のメロディー ロマン紀行」テレビ朝日系列(静岡朝日テレビ制作)

今年開局20周年を迎えた静岡朝日テレビが、2週間の海外ロケを敢行し、制作に取り組んだ特別番組。「ピアノ」にスポットをあて、その知られざる歴史やエピソード、まつわる謎を解きながら旅をするドラマ・ドキュメンタリー。ピアノの伝来のルーツとその歴史を求めて、浜松・長崎・萩そしてオランダ、ドイツ、イタリアへ。萩では、熊谷美術館にある日本最古のシーボルトのピアノを羽田健太郎が実際に演奏します。
リポーターは羽田健太郎と女優の純名里沙。

放映予定日 11月27日(日) 午後2時～3時25分

◆テレビ朝日系列中四国4局共同制作番組「夢紀行・中四国秋の古都めぐり」山口朝日放送(YAB)、広島ホームテレビ(HOME)、愛媛朝日テレビ(EAT)、瀬戸内海放送(KSB)

中四国のテレビ制作局の番組をリレー中継するものです。山口朝日放送からは「どんと毛利36万石・白壁の町」を中継。幅広い地域に武家屋敷が今も残る萩市の城下町を女性アナウンサー2人が自転車で回る。小回りの効く分だけ観光客の訪れない小路なども紹介して、地元局ならではの発見に努めています。
放映予定日 11月3日(火) 午後3時～4時25分

萩市関係

■ジャズコンサート「Chin Suzuki with New York Friends '98」
鈴木良雄(b)、ロニー・マシューズ(p)、リロイ・ウィリアムス(d)の3人によるジャズコンサートです。
とき 11月3日(火) 午後7時
ところ 萩市土原・ジャズ喫茶「ヴィレッジ」
料金 6000円
問い合わせ ジャズ喫茶「ヴィレッジ」(0838・25・6596)
■萩時代まつり

とき 11月14日(土)・15日(日)
ところ 萩市内各所
内容 萩大名行列、岩国鉄砲隊実演、奇兵隊ほか(本号3Pを参照)
■萩広域ふるさとまつり
萩市及び阿武郡の町村の特産品が展示即売されます。ふるさとの味を味わってみてはいかがでしょうか。
とき 11月14日(土)・15日(日)
ところ 萩市役所
■萩・国際友好物産フェア
外国の食品や雑貨などが展示販売されます。
とき 11月14日(土)・15日(日)
ところ 萩市民体育館

■「萩ガラス切り子」と「創作人形・盆創」展
とき 11月21日(土)～12月6日(日)
ところ 萩市越ヶ浜明神池上がら・萩ガラス工房(本号13Pを参照)
■滝口和男「わん・碗・盃」展
現代日本を代表する陶芸家の1人・滝口和男がつくる、おいしく楽しめる「ちゃんわん」の展覧会です。
とき 11月27日(金)～12月3日(木)
ところ 萩市呉服町・ギャラリー彩陶庵

新萩市立病院 病院職員の募集

意欲あるあなたをお待ちしています

■問い合わせ

萩市総務部総務課(0838・25・3131)

■募集内容

職種区分	採用人員	受験資格
看護婦(士)	22名程度	次の要件をすべて満たす者 (1) 昭和29年4月2日以降に生まれた者 (2) 看護婦(士)免許を有する者または平成11年4月までに看護婦(士)免許を取得見込みの者で、看護婦(士)または准看護婦(士)として2年以上の経験を有する者 (3) 交替制勤務が可能なる者
診療放射線技師	1名	昭和39年4月2日以降に生まれた者で、診療放射線技師免許を有し、診療放射線技師として実務経験を有する者
臨床工学技士	1名	昭和39年4月2日以降に生まれた者で、臨床工学技士免許を有し、人工透析、手術室等の実務経験を有する者
理学療法士	1名	昭和39年4月2日以降に生まれた者で、理学療法士免許を有し、3年以上の経験を有する者
作業療法士	1名	昭和39年4月2日以降に生まれた者で、作業療法士免許を有し、3年以上の経験を有する者
医療ソーシャルワーカー	1名	昭和39年4月2日以降に生まれた者で、医療社会事業従事者として実務経験を有する者
病院事務(経理事務)	1名	昭和39年4月2日以降に生まれた者で、経理事務について実務経験を有し、簿記2級以上の資格を有する者

平成12年4月の開設に向けて萩市立病院の移転新築準備が着々と進んでいます。老人保健施設と特別養護老人ホームも併せて開設するこの一帯は(仮称)「健康と福祉の里」として、萩市の保健・医療・福祉分野の活動を飛躍的に発展させる拠点となります。生まれ育った萩で力を発揮してみたい方、新天地・萩で大きく夢を描いてみたい方、格段に機能を強化してスタートする新病院の運営にあなたも参加しませんか。

- ◆募集期間 平成10年12月16日～平成11年1月22日
- ◆1次試験 平成11年2月14日
- ◆採用予定 平成11年10月1日、または平成12年1月1日
- ◆給与 経験年数により初任給の調整あり

■平成11年度病院職員募集予定

職種 薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士(いずれも若干名)

■新萩市立病院の建設概要

- 建設場所 萩市椿青海
- 病床数 一般100床 結核15床
- 診療科目 内科、外科、整形外科
- 構造 鉄筋コンクリート造3階建 ○延床面積 8,321.46m²
- 特色 二次救急、リハビリテーション、人工透析、へき地医療支援、人間ドッグなど

幕末・維新こぼれ話

萩市下五間町に常念寺という浄土宗の古刹があります。国の重要文化財に指定されている表門は、京都聚楽第の裏門を豊臣秀吉から毛利輝元が賜ったのを移築したと伝えられています。

その表門の後ろ、広大な本堂の中に十六羅漢がまつられています。この十六羅漢は、常念寺の末寺で鶴江にあった音声寺の前身、善法院のものであったとか、江向にまつられていた田中の千体仏にあったものであるとか、あるいは新調したものとか、数々の伝承があり、その由来はあきらかではありません。

実は、これら16体の羅漢像のうち、11体の羅漢像に元治元年（1864）京都禁門の変で戦死した萩市勇隊の隊士たち14名の法名が記されているのです。萩市勇隊は、文久3年（1863）6月、菊ヶ浜土塁の築造と時を同



常念寺にある十六羅漢像

常念寺の十六羅漢

～萩市勇隊の菩提を弔う～

書籍紹介

■山口県の100年シリーズ第6弾「萩・長門の100年」郷土出版社

明治・大正・昭和の激動の一世紀が今よみがえる。萩市・長門市・阿武郡・大津郡の100年を350枚の写真入りで紹介しています。わが市・わが町の生活感あふれる懐かしい姿が満載されています。12月上旬発刊予定。

定価 11,000円（税別）

発売元 山口図書株式会社 ☎0389・73・0526

■図説「山口県の歴史」河出書房新社

郷土・山口県3万年の歴史と生活のドラマを書いたものです。近世の分野では、萩藩のはじまり、萩藩の教育改革などを紹介しています。萩市郷土博物館所蔵の貴重な写真も掲載されています。11月16日発売予定。

定価 5,500円（税別）'99年2月末日までは特別価格5,000円（税別）

■「えのぐの詩（うた）」小学館

財団法人日本チャリティ協会が創立30年を記念して発行。障害を持ちながら芸術に取り組んでいる方々の作品に、各界の著名人が文章をつけて紹介しています。本の中では萩市に在住し切り絵の創作活動を続けている上田豊治氏の作品に、筑紫哲也氏が文章をつけています。11月12日発売。書店にてご予約ください。

定価 1,400円（税別）

じくして結成された萩城下の町人たちからなる諸隊です。この年の4月、藩庁が萩から山口に移ったことにより、萩の防備は手薄になりました。このような状況の中で、萩の町人たちは土塁の築造、さらには諸隊の結成と、萩の防衛に町人自らが立ち上がったのです。言い換えれば、萩城下住民たちの危機意識の表出だったのです。有名な奇兵隊も、同時期に高杉晋作によって結成されますので、萩市勇隊の歴史的な意義も同様に評価する必要があります。

禁門の変は、その前年文久3年8月18日の政変によって京都から追放された長州藩が、勢力回復のため京都に攻め上り、会津・薩摩両藩に撃ち破られた戦いです。敗北をきった長州藩は、入江九一・久坂玄瑞・寺島忠三郎など多くの有為の志士たちを失いました。禁門の変には総勢1600名ほどの長州藩兵たちが参戦しましたが、萩市勇隊は50名が中立売門を中心に奮戦しました。この戦いで、萩市勇隊は16名の戦死者を出しました。常念寺の十六羅漢には、そのうち14名がまつられていますので、ほとんどの戦死者がまつられていることが分かります。

まつられた戦死者の姓名は、須子小五郎・大玉亀之助・高橋岩之丞・松屋梅吉・野村喜代熊・前田弥四郎・藤山万吉・小林市右衛門・増山音吉・中原三郎・難波金助・栗本房次郎・三島金槌・常永作次郎。その平均年齢は23歳、彼らの法名とともに、「元治元年七月十九日於京師戦死」と記された札がすべてに立てられています。明治維新をなし遂げる過程において、武士階級だけでなく一般町人たちの若い血も早くから流れていたのです。

禁門の変で戦死した萩市勇隊の隊士たちが、なぜ常念寺の十六羅漢にまつられたのかは謎のままです。明治20〜30年代ごろまでは、毎年禁門の変が勃発した7月19日に焼香する人があったそうですが、昭和の初年ごろには全く絶えてしまったそうです。ちなみに、京都東山にある霊山には、禁門の変で戦死した200余名の長州藩兵士のうち158名の墓が林立していますが、常念寺の十六羅漢にまつられた市勇隊士も松屋梅吉を除いた13名が眠っています。

萩市郷土博物館 樋口尚樹